

「徳島すぎ」の家！

2月21日、鹿児島県中小企業団体中央会主催の「地材地建・薩摩の家づくり」という講習会があり、徳島県から（協）スーパーウッドシステムの池田専務を講師として招き、「地元の森林資源を活かした住宅づくりーお客のニーズと本物の家づくりー」というお話を伺いました。

徳島県では平成2年、明石海峡大橋の開通を契機に徳島県の発展を目指し、「3000日の徳島戦略」を発表しました。その一つとして近畿圏への木造住宅を供給する体制を作ることを検討し、林業、木材産業、住宅産業に携わるメンバーと徳島県が一体となって、平成8年「徳島県木の家づくり協会」がスタートしたそうです。

この協会は徳島県木材協同組合連合会と、下記の6つの協同組合で構成されています。各組合とも木材の産地をトレイサビリティできるようにしているそうです。また、この協会に参加するには、県産材の利用度、システム充足度、合理化・低コスト化推進度、品質管理度、供給実績、エンドユーザー対応度、総合的システム特性度等の厳しい審査が行われるそうです。

参加組合の特徴は

1. 海部林材(協) ……県南部の海部すぎを高品質乾燥とプレカットで全国へ発信。すぎの厚板も扱う。
2. (協)スーパーウッドシステム(SWS) ……「信頼・安心・ゆとり」をコンセプトに自然乾燥と中温乾燥で高品質・低価格の家づくりを提案
3. TSウッドハウス(協) ……県南部の樹齢60年以上の木頭すぎを「切り旬」を守り、製材後自然乾燥した材を伝統的な「貫」「長ホゾ込み栓」という、金物を使わない家づくりをしている。
4. 那賀川すぎ共販(協) ……樹齢50~60年の杉を自然乾燥と人工乾燥で加工した厚板を床・壁・野地板として使用。すぎの持つやさしさ、暖かさを活かした空間作りを提案している。
5. ハウスG住宅センター(協) ……団地供給から住宅改修まで行い、モジュール0.98の「ゆとり」ある住宅を作る。林野庁の助成を得て、定期的に短期・長期の「住まいづくり教室」を無料で開催している。
6. 樹もくさん ……森林組合、上勝町内製材業者からなる第3セクター組織。KKパル住宅等の他にエクステリア・土木公園用資材なども取り扱っている。

これに比べると「認証かごしま材」の認証工場制度や、取扱店制度などまだまだ取組が浅いですね。

「ひおきの家づくり協議会」では今月末この地域へ研修に行く予定です。機会があればまたその報告もします。

【情報】

木材価格が急上昇中です！

昨年から原木高が続いておりましたが、今年に入って、製品価格も上がり始めました。今までは製材工場が原木価格を負担する形で、上げ幅は小さかったのですが、2月位から15%~20%位上がった製品もあります。必要なものは早めに手配してください。

KWF 講演会

演題 「小型木造船開発報告」

日時 平成19年3月20日(火) PM2:00~4:30

場所 鹿児島大学稲盛会館メモリアルホール

【定休日】

3月は3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25日となります

4月は1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 29日となります

ご協力をお願いします。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)

